

科目ナンバリング		U-LAS01 10005 LJ38												
授業科目名 <英訳>		東洋史Ⅰ Oriental History I					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 辻 正博					
群		人文・社会科学科目群			分野(分類)		歴史・文明(基礎)			使用言語		日本語		
旧群		A群		単位数 2単位		週コマ数 1コマ		授業形態		講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期		2024・前期		曜時限		月2/月3			配当学年		全回生		対象学生 全学向	
[授業の概要・目的]														
「中国中世史のダイナミズム」 中国の中世（2世紀後半から8世紀前半まで）は、北方の遊牧系民族が華北（黄河流域）に移動・定住したことを契機として、従来の漢民族の社会に大きな変化が生じた時代である。言うまでもなく、その歴史過程は単純ではなく、さまざまな紆余曲折を経て展開する。この講義では、高校の世界史教科書では描ききれない、中国中世史の多様な側面を紹介・解説することにより、受講生に新たな歴史観を提示したい。														
[到達目標]														
古代日本が中国大陆と本格的にコンタクトを取り始めた時代、中国社会じたいも大きな変貌を遂げつつあった。本講義は、古代日本が相対した中国王朝・社会がどのようなものであったのかについて、多面的に理解を深めることを目的とする。														
[授業計画と内容]														
基本的に以下のプランに従って講義を進める。但し、状況に応じて内容を適宜変更することがある。なお、初回は「ガイダンス」にあて、講義内容の概略について説明を行う。 第2週目以降は、以下のテーマについて合計14回（フィードバックを含む）の授業を行う。 1．華北における胡漢の並存―中国中世への導火線 2．曹操政権と魏王朝―漢王朝との断続的關係 3．貴族制社会の形成―漢族社会の変容 4．「五胡十六国時代」への歷程 5．孫呉と東晋―土着豪族政権から流寓貴族による江南統治へ 6．胡族国家・北魏による華北統治 7．孝文帝の「漢化政策」がもたらしたもの―衝撃と反動 8．江南政権の変質―門閥貴族政権から軍事皇帝の時代へ 9．突厥遊牧帝国の出現と北朝 10．侯景の乱―南朝の衰退 11．宗教と政治―皇帝による保護と弾圧 12．隋による中華統一―煬帝のみた夢 13．まとめ 《期末試験》 14．フィードバック														
[履修要件]														
本講義は、同一内容のものを週2回開講するので、いずれか1つのみを履修登録すること。														

東洋史Ⅰ(2)

【成績評価の方法・観点】

平常点（課題・クイズの成績および出席状況等。50％）および期末試験（レポート試験）の成績（50％）

【教科書】

富谷至・森田憲司編『概説中国史（上）：古代—中世』（昭和堂）ISBN:978-4812215166
本学の学習支援システム等を通じて、講義資料を配布する。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

（１）高等学校の「世界史Ｂ」教科書内容を理解していることを前提として授業を進めますので、よく復習しておいてください。
（２）講義資料は、原則としてP a n d Aを通じて配布します。事前にダウンロード・印刷して読み込んでおくことを強くお勧めします。

【その他（オフィスアワー等）】

文系・理系を問わず、向学心に溢れた皆さんの聴講を歓迎します。